

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はこだて療育・自立支援センター はぐみ		公表日		令和 8年 2月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ホールなどの共有の場所は、各クラスで時間を決め順番に使っております。 ・狭い部屋で運動遊びを行う場合には、内容を工夫しながら行っております。 ・一部屋をパーティションで区切り、各クラスのスペースを確保したり、構造化するなど使いやすく工夫しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準は満たしておりますが、スペースは限られますので、特に室内活動については、個別またはクラスの活動によっては一部設定を工夫する必要があります。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員数は適切に配置しております。 ・個別の支援内容により、基準以上の配置が必要になることがあり、こどもの状況を見ながら、必要に応じてスタッフ間でサポートし合っております。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・こども達がスムーズに行動できるよう工夫しながら支援しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設当初と事業の内容や部屋の使い方が変更されているため、部屋やトイレの配置などのハード面について、こどもの動線を考えた時に一部使いづらく、工夫が必要な所があります。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・室温や湿度に合わせ、空調を調整しておりますが、場面や個人差により、暑さ、寒さを感じる場合がありますので、活動内容やお子さんの体調などに配慮した対応をしております。 	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・会議や日々の振り返り時など、職員の意見を把握する機会を設け、内容について検討しております。	・職員の意見の内容について、考え方の相違があることもありますが、最善策となるよう話し合いを重ねております。ただし、内容によっては、現体制では、実現が難しいことがあります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・令和6年度より、運営アドバイザー2名に自己評価会議に参加していただき、外部からの意見を反映させております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画をたて、内部研修や外部研修を実施しております。 ・支援の質の向上、マンパワーの向上を目指し、外部研修への参加や、定期的な事業所内での研修実施など、知識とスキル向上に努めております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・基本的なプログラムを基に1年に1回内容を見直し、作成、保護者に配布するとともにホームページで公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者とクラス担任で会議をする他、医療専門職が加わった会議やカンファレンスを定期的実施して検討しております。	・児童発達支援と併せて治療を行っているお子さんへの、リハビリテーション担当者による、計画作成等への参画方法については、さらに検討が必要です。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・計画を共有する他、個々の発達の様子や支援の共通理解を図るための話し合いや研修を行い、支援の質を高めております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・初回アセスメント時とその後年に1回程度、標準ツール（KIDS乳幼児発達スケール）を用いて保護者と確認共有し、成長した姿を共有しております。 ・日常の行動観察から情報を得て、スタッフ間で個々の特性の理解につなげております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・活動プログラムは支援後に毎回振り返りを行い、繰り返し行うもの、変えていくものなど内容を検討しながらすすめております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・全体療育やクラス活動、個別活動を設定し、児童発達支援管理責任者と複数のクラス担任で話し合い、こどもの状況に合わせて活動内容の検討をしながら支援計画を作成し支援を行うよう心がけております。 ・2クラス合同での活動を設定し、クラス間の交流を図るなどの工夫をしております。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、支援終了後に職員が集まり、支援内容を振り返りながら、情報共有や報告等を行っております。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と地域の保健師とのかかわりについて、スムーズに進むよう、状況をみながら介入し支援しています。 ・年に2回程度保健師との連絡会を設定し情報共有している他、必要に応じ関係機関と電話や会議等により情報共有等を行っています。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・併行利用児は園と連絡を取ったり、見学に伺う、または来ていただくなど、互いに実状について把握し共通理解に繋げております。 ・関係機関との情報共有、相互理解を図るよう対応しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併行利用や移行に向けた支援が増えることで、児童発達支援の利用回数や支援内容が多様になるため、個別対応について検討しながらすすめる必要があります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携しながら、「情報提供書」の提出や、担当者会議等への参加をしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有と相互理解を図るための学校等との連携に努める必要があります。
	28	<p>(28～30は、センターのみ回答)</p> <p>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。</p>	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所連絡会事務局として連絡会や研修会を開催しております。 令和7年度からは放課後等デイサービス事業所連絡会事務局として、研修会に携わっております。 ・他の児童発達支援センターや行政担当者と連携し、今後の地域全体での取組について協議しながらすすめております。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も更に連携するとともに、他都市の動きなども参考にしながら、地域全体の質の向上に取り組む必要があります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関 や 保 護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への参加や外部講師による職場内研修を実施しております。 ・施設内の医療専門職が参加した合同カンファレンスを月1回実施し、助言を受けております。 ・令和6年度から運営アドバイザーを委嘱し、外部から助言を受ける機会を設定しております。 	・日常の支援場面についても、質の向上に向け、外部からのアドバイザーを入れることやケース検討などの方法も含め工夫が必要です。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会こども部会、医療的ケア児ワーキンググループに参加しております。	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・肢体クラス、親子クラスなど一部のクラスで地域のお子さんとの交流の機会を作っております。 ・交流の対象、回数は限られるため、必要に応じて事業所内でも年齢やクラスを越えた関わりを持つよう工夫しております。 	・対象や回数、交流の仕方については、個別支援計画の内容も踏まえ、今後も検討しながらすすめる必要があります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・日々連絡帳や送迎時にお子さんの状況を伝えあい、必要時には保護者にも支援中の様子をみていただいたり、面談の機会を設けるなどしております。	・保護者と接する機会が少なくならないよう、個別相談や懇談会、茶話会等お会いする機会を設ける工夫をしておりますが、参加していただくのが難しい場合もあり、さらに参加しやすい方法を検討していく必要があります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・保護者向け学習会への参加が少ない回もあり、内容、実施日時など参加しやすい工夫をする必要があります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・朝や帰りの送迎時や連絡帳または機会があるごとに保護者と話し合いをしております。 ・家族支援として対面で面談する時間も設けております。	
保 護 者 へ の 説	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・事業所独自の保護者会等はありませんが、学習会や懇談会、クラス毎の茶話会、親子での園外療育等の機会を通し、保護者同士で交流できる機会を設けております。 ・必要時には関連する親の会の紹介等しております。 ・事業所独自のきょうだい同士の交流を目的としたプログラムは設けておりませんが、関連する親の会や関係機関が主催する交流行事に協力し、案内や同行する形で支援しております。	・きょうだい同士の交流については現在取り組んでおりませんが、必要に応じて行事等で兄弟も交流できる工夫や、きょうだいへの支援の方法なども今後考えていく必要があります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のクラスだよりを発行している他、随時お知らせ等を配布しております。写真やイラストを使い、楽しくわかりやすい内容になるよう工夫しております。 ・HPでは基本的な情報を発信しております。 	・SNSの活用は環境整備が整っておらず、今後の課題です。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんそれぞれのコミュニケーション方法を確認しながら対応し、表情や動きを含め小さなサインを見逃さず気持ちを受け止め理解するよう努めております。 	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・センターまつりでは、地域住民等にも開催をお知らせし、事業所の活動内容を紹介するパネル展示や、ステージ発表の観覧などの機会を設けております。 ・施設見学や実習生の受け入れを随時行っております。 	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時や健康診断時に母子手帳などで予防接種について確認しております。 ・必要なお子さんについては事前に医療状況、事業所での対応、緊急時の対応など確認しております。 ・受け入れ後も、担任だけでなく、事業所内でこどもの状況（発作も含め）を日々共有しております。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルに基づき対応するにあたり、詳細な対応や役割分担について、はぐみに即したものを整理しながらすすめております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアやアレルギーなど、多様な配慮が必要なお子さんが増えているため、個々の対応も含め、事業所内で周知し再確認していく必要があります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはあまり閲覧されていない状況がありますので、周知の仕方について検討が必要です。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			